

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (35,000円) 上記は2024年1月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続き費用 (パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5年用 11,000円 / 10年用 16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) このご旅行には2024年5月26日以降のパスポート有効期限が必要です。(+2週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金: A35,000円 B39,000円 (ホテルは基本2名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2024年1月1日現在を基準としています。

- 旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
- <取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
- <解除時期・取消料>

契約の解除期日	
31日目にあたる日以前の解除	無料
30日目にあたる日以降の解除	旅行代金の20%
29日目にあたる日以降の解除	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
 - ①企画手配料金および手配料金
 - ②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金
 - ③宿泊費: 下記ホテル又は同等クラスのホテル (弊社基準) 基本宿泊料および税、サービス料 台北=兄弟大飯店または漢普頓酒店 (4つ星)、花蓮市 (Bコース)=福容大飯店 (3つ星) ※基本2名一室です。
 - ④食事代 (Aコース朝食3回/昼食3回/夕食3回) (Bコース朝食4回/昼食4回/夕食4回)
 - ⑤見学施設の入場料
 - ⑥ガイド代
 - ⑦現地協力者の謝礼・同行費用・交流代
 - ⑧通訳者・講師謝礼・同行費用 ⑨添乗員1名同行費用
- 旅行代金に含まれないもの
 - ①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ②超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
 - ③個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
 - ④航空会社が課す 成田空港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃(35,000円) 2024年1月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。⑥海外旅行傷害保険料
 - ⑦日本国内の交通費、前泊の費用 ⑧お一人部屋料金 (A35000円、B39000円)

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで



株式会社 **富士国際旅行社**

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

TEL: **045-212-2101** FAX: **045-212-2201**
henshu@fits-tyo.com 担当: 西須・金光・山田

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
(休業日: 土日・祝日)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

- ①【紙でお申込みの場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円** (旅行代金内金) をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)
- ④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。
- ⑤出発2～3週間前に旅行説明会を行います。(オンラインと会場両方可)

参加予約票 株式会社 富士国際旅行社 宛 日本AALA70周年企画 台湾 一平和のための市民交流の旅

参加希望コースに○⇒ 【 Aコース ・ Bコース 】

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日生れ ()才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券 (パスポート) 【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)	発着希望空港に○ (羽田 ・ 関西) ※関西空港ご発着の方は別途 ご料金をご案内いたします。		
連絡先	【tel】 () - () 【携帯】 - 【e-mail】	【fax】 () -	AALA会員・非会員に○ (会員・非会員) ※ツアーほどなたでもご参加いただけます	



70周年
企画

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会
日本 AALA

台湾・金門島

花蓮市

平和のための市民交流の旅

Aコース(3泊4日)

台湾・金門島

旅行期間	5月22日(水)～5月25日(土)
旅行代金	259,000円 (羽田発着) ※Aコースは関西空港発着も可能です。ご料金は別途ご案内いたします。上記の費用以外に、海外空港税、燃油付加運賃、空港施設使用料他(約35,000円)が別途必要です(2024年1月時点・変動あり)

Bコース(4泊5日)

台湾・金門島

花蓮市

旅行期間	5月22日(水)～5月26日(日)
旅行代金	299,000円 (羽田発着) ※Bコースは、羽田空港発着のみとなります。上記の費用以外に、海外空港税、燃油付加運賃、空港施設使用料他(約35,000円)が別途必要です(2024年1月時点・変動あり)

最少催行・定員	各コース最少催行人数は15名 定員はA・B合わせて35名	添乗員 (A・B合わせて)	1名同行します
申込締切	第一次締切: 2月29日(木) ※定員に達し次第締切ます。お早めにお申込みください。	最終締切: 3月22日(金)	

旅のおさそい

自衛隊基地建設が進む南西諸島。台湾・花蓮市は与那国町の姉妹都市です。かつて、与那国島出身の宮良作氏が「尖閣諸島周辺は、中国、台湾、石垣の漁師は取る魚が違うから争いはなかった。煽る人たちは安全な場所において危険になるのは自分たちだ。」と言っておられました。台湾市民と交流する平和の旅です。ぜひ、ご参加ください。

企 画

※写真は全てイメージです

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会
(略称: 日本AALA) MAIL: info@japan-aala.org TEL: 03-6453-7297

〒105-0014
東京都港区芝
1-4-9 平和会館6階

日本AALA 70周年企画 平和のための市民交流の旅 旅程表

日付	都市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)	
① 5/22 (水)	羽田発 台北松山着 関西空港発 台北桃園着	航空便 専用車	各地空港からご出発(羽田午前8:30 / 関西午前9:00集合予定) 羽田空港発:空路✈台湾・台北松山空港へ 関西空港発:空路✈台湾・台北桃園空港へ 各空港着後、それぞれ専用車で台北市内見学 ●台湾総統府(外観) ●二二八和平紀念公園(モニュメント) ●二二八国家紀念館 各空港参加者合流 ★参加者夕食交流会 台北泊 朝×昼機夕○	
② 5/23 (木)	台北	専用車	<台北市内見学> ●阿嬷(アマ)の家・平和と女性人権館:見学と交流 >「慰安婦」の調査・支援を行う婦女救援基金会在が設立した博物館 ●国家人権博物館 >かつての国家権力による理不尽な人権抑圧の歴史を伝える博物館 ★午後:現地の方と交流 夕食後、夜市散策 台北泊 朝○昼○夕○	
③ 5/24 (金)	金門島	専用車 航空便 専用車 航空便	午前:ホテル発 空路、金門島へ(所要1時間20分) ※分便になる場合がございます。 <金門島見学> 金門島の戦跡を中心に見学 (1949年戦争の「古寧頭戦役」激戦地や軍隊慰安婦たちの記念館 など) 夜:空路、再び台北へ(所要1時間10分) ※分便になる場合がございます。 台北泊 朝○昼○夕○	
④ 5/25 (土)	博物院 台北発 台北発 花蓮市着	専用車 航空便 専用車	Bコース(4泊5日)	Aコース(3泊4日)
			午前9時~故宮博物院見学 11時博物院発 専用車で、花蓮市へ(所要約2時間30分~3時間) 到着後、昼食休憩 午後:花蓮市内見学 (日本統治時代の関連施設など) ★現地の方と交流	午前9時~故宮博物院見学 <関西空港へお帰りの方> 10時30分博物院発、専用車で台北桃園空港へ 空路✈ 関西空港へ(17:15頃 帰国予定) <羽田空港へお帰りの方> 11時30分博物院発 市内へ移動 昼食休憩(各自自由食) 迪化街にて自由行動、空港へ 空路✈ 羽田空港へ 到着後、解散(20:05頃 帰国予定)
⑤ 5/26 (日)	花蓮市発 台北松山着 台北松山発 羽田空港着	専用車 航空便	午前:花蓮市内見学 台北に向けて出発、着後昼食休憩 松山空港へ移動 空路✈ 羽田空港へ 到着後、解散(羽田20:05 頃着予定) ※Bコースは往復とも羽田発着のみとなります。 花蓮市泊 朝○昼○夕○	

- 手配上・現地のご都合により、訪問日時や順序が入れ替わる場合がございます。
- 金門島への航空便は機材が小さいため、分便になる可能性がございます。
- 旅程表のマーク:○=食事付き、×=自由食、機=機内食 ●利用航空会社:エアー航空、ユニエアー ●宿泊予定ホテル(基本2名1室)
下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準):台北(4つ星ホテル)=兄弟大飯店または漢普頓酒店、花蓮市(Bコース、3つ星)=福容大飯店

台湾味の魅力

台湾料理とは、台湾で食べられる中華料理のうち、主に福建料理をベースとして、台湾で発展した郷土料理です。「食は台湾にあり」といわれるほど、台湾には美味しいグルメが充実しています。定番は小籠包や魯肉飯(ルーローハン)、台湾スイーツや屋台グルメも観光客に人気です。はじめてでも気軽に入れるお店が多く、日本語メニューを用意しているお店もあります。



金門島

中国

金門島は、西は中国大陸福建省のアモイ市から2 km、東は台湾海峡を隔てて台湾島と約200 kmの位置にあります。金門島の他に烈嶼(小金門)、大胆、二胆など15の島で金門群島と呼ばれています。そのうち3つの島は中国の直接統治になっており、台湾の金門県は12個の島々で構成され、総面積は約150 km²です。亜熱帯気候に属し、年平均気温はおよそ21度。朝晩と日中の気温差が大きいのが特徴です。

日中戦争中は日本軍に占領されていました。日本の降伏後、第二次国共内戦が勃発。金門島をめぐる戦闘「古寧頭戦役(こねいとうせんえき)」(1949年)は、戦後の中国と台湾の関係の出発点とも言えるのではないのでしょうか。中華民国政府が台湾へ移って以降は、中華民国軍の軍事的拠点となり、一般観光客による金門島への出入りは厳しく制限されます。島には当時最大約10万の軍隊が駐屯し、住民は軍事施設の建設など、軍隊を支えるために駆り出されました。1987年に台湾戒厳令解除された後、現在は台湾島だけでなく中国本土からも多くの観光客が訪れる島となっています。

島には多くの戦争遺跡が残され、歴史を伝えるため広く公開されています。かつての地下坑道、要塞、トーチカ、戦車、大砲などを見ることができ、歴史を学ぶ場として活用されているのが分かります。また、伝統的な古集落も金門島の見どころの一つ。独特な自然風景、台湾島とは一味違う料理をお楽しみいただけます。



台湾基本情報

面積: 3万6197km² 人口: 約2323万3千人(世界年鑑2023)
言葉: 中国語 時差: 日本より-1時間
電圧: 110ボルト(V)、60Hz ※プラグの差込口は日本と同じ
通貨: ニュータイワンドル
気候: 南北に細長い台湾本島は、中央を通る北回路帰線を挟み、北が亜熱帯気候、南は熱帯気候に分けられる。台湾は、1年中温暖で、明確な四季はなく、長い夏と短い冬がある。

阿嬷(アマ)の家・平和と女性人権館

台湾の人権団体「婦女救援基金会」は、貧しさのために女児が売春に追いやられる人身売買の防止をめざして、1987年に設立された組織です。以来、1992年からは台湾の「慰安婦」問題の解決に向けた活動を始め、2016年末に台湾初の「慰安婦」資料館、「阿嬷(アマ)の家・平和と女性人権館」を開館。新型コロナウイルスの影響で一時的に閉館となりましたが、2021年夏に移転・再開館しました。



二二八国家紀念館

~終戦後(1947年2月8日)、外省人と本省人の間に起こった事件~



太平洋戦争終了後、台湾が中華民国に返還された後に起こった二二八事件についての記念館。二二八事件は、やみタバコを売っていた女性が取締官に殴り殺されたのを契機として、国民党政府に対する住民の抗議活動が全国各地に広がりました。この抗争に対して国民党軍は台湾住民の虐殺を開始し、公式には2万8千人もの住民が犠牲になったといわれています。

花蓮市

東部最大の港町 / 与那国町の姉妹都市

台湾の東岸、やや北寄りに位置する花蓮(かれん/ファーレン)は、東部最大の都市。海岸には台湾4大港の一つである花蓮港があり、海沿いには鮮魚店や海鮮レストランなどが並びます。日本統治時代は、「花蓮港」と呼ばれ、商業港としての役割や日本からの多くの移民を受入れる玄関口でした。日本軍の軍事関連施設や日本人開拓村の跡地を見学することができます。1982年10月8日には与那国町と花蓮市は姉妹都市協定を締結しました。

花蓮市の大理石製ベンチ

